

LOBO 調査

早期景気観測

8月 日商調査日 8月6日～19日
 当所調査日 8月6日～21日

LOBO調査とは

全国各地の商工会議所が参加して、日本商工会議所が実施する全国規模の早期景気観測調査。当所ではさらに、会員企業40社の皆さまにも調査へのご協力をいただき、より地域に根差した調査を実施。

日商調査

8月の全産業DI ▲59・0

(前月比+0.3ポイント)

○中小企業の景況感

新型コロナウイルスの影響による在宅時間の増加に伴い、飲食料品のほか、家具・家電などの需要も伸びている小売業や、公共工事に下支えされた建設業が堅調に推移した。一方、主に都市部を中心に感染が拡大する中、消費者のマインド低下や帰省・旅行の自粛、一部の自治体における飲食店への営業時間短縮の要請などが下押し要因となり、観光関連の業況は厳しい状況が続く。これまで経済活動の再開に伴い、持ち直しの動きがみられたものの、足元では感染拡大の影響から足踏みとなった。中小企業の景況感は依然として厳しく、回復に力強さを欠く。

○先行き

先行き見通しDIが▲52・9（8月比+6.1ポイント）。

自動車関連をはじめとする中国向けの輸出持ち直しへの期待感がうかがえるほか、ネット販売の強化やIT活用など新たな生活様式への対応を進める企業から

前向きな声も聞かれる。一方、主に都市部を中心とする新型コロナウイルスの感染拡大への懸念から、消費者のマインド低下や資金繰りの悪化など、影響の長期化に対する警戒感が強まっており、先行きに対して慎重な見方が続く。

【関東ブロックの業況についてのコメント】

個人の住宅や飲食店の店舗などの建築工事は中止・延期が出ているが、猛暑の影響もあって空調設備工事は伸びている（建築工事業）。

米国・欧州向けは低調なものの、中国向けは回復傾向にある。ただし、今後の国内外における需要予測が難しく、先行きは不透明（自動車部品製造業）。

長梅雨に伴う日照不足や8月以降の記録的な猛暑により、野菜などの出荷に影響が出ている。ただ、小中学校の夏休み短縮を受け、例年より早い時期から学校給食の引き合いが増えている（飲食料品卸売業）。

【当所調査】

改善傾向ながら新型コロナウイルスの影響から、DIは依然低迷

全体平均DIは▲38・8ポイントで、前月に比べ8・4ポイント改善されたが、新型コロナウイルスの影響で景況感は依然として厳しい状況にある。

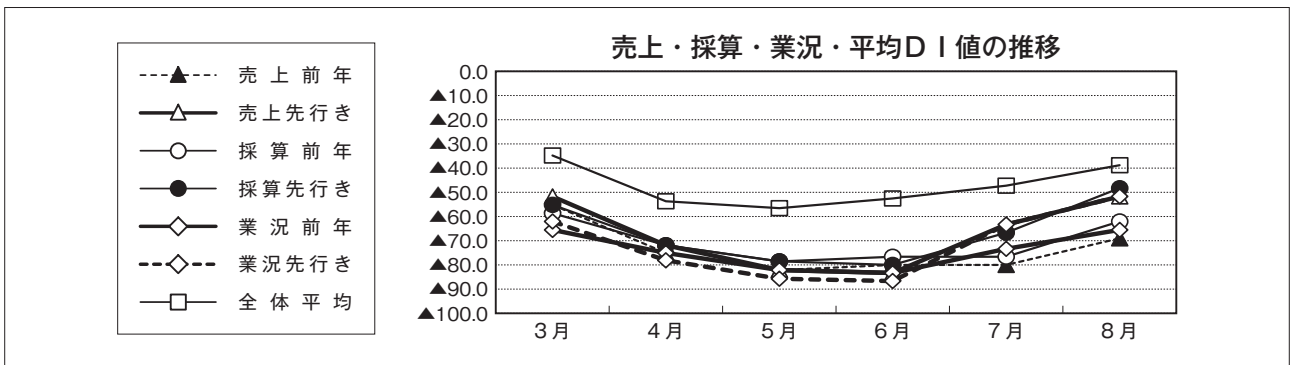
項目別では、前月と比較し売上先行きが11・6ポイント改善、採算先行きが18・4ポイント改善と持ち直しの兆しがみられる。寄せられたコメントには「新型コロナウイルス感染症の影響で、黄門まつりが中止となり、お盆の帰省客も少なかったことで、売上が減少した」（菓子小売業）、「コロナ禍の鎮静化が見えない。風評被害による飲食業界への打撃が大きい」（飲食製造業）という声がかかれた。

(全産業)

水戸商工会議所会員企業LOBO調査(DI値推移)

(サンプル数40社)

項目	令和元年	令和2年					
	8月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上前年	16.0	▲55.2	▲75.0	▲82.1	▲80.0	▲80.0	▲69.0
売上先行き	▲20.0	▲51.7	▲71.9	▲82.1	▲83.3	▲63.3	▲51.7
採算前年	▲4.0	▲58.6	▲71.9	▲78.6	▲76.7	▲76.7	▲62.1
採算先行き	▲12.0	▲55.2	▲71.9	▲78.6	▲80.0	▲66.7	▲48.3
仕入前年	▲28.0	▲24.1	▲31.3	▲28.6	▲26.7	▲36.7	▲31.0
仕入先行き	▲28.0	▲24.1	▲43.8	▲35.7	▲23.3	▲36.7	▲31.0
社員前年	32.0	17.2	0.0	▲3.6	0.0	3.3	10.3
社員先行き	20.0	17.2	0.0	▲7.1	▲6.7	3.3	6.9
業況前年	▲4.0	▲65.5	▲75.0	▲82.1	▲83.3	▲73.3	▲65.5
業況先行き	▲24.0	▲62.1	▲78.1	▲85.7	▲86.7	▲63.3	▲51.7
資金前年	▲4.0	▲27.6	▲59.4	▲57.1	▲43.3	▲43.3	▲34.5
資金先行き	▲16.0	▲27.6	▲65.6	▲57.1	▲40.0	▲33.3	▲37.9
全体平均	▲6.0	▲34.8	▲53.6	▲56.5	▲52.5	▲47.2	▲38.8



※DI値(景況判断指数) = (増加・好転などの回答数 - 減少・悪化などの回答数) / 全回答数 × 100。ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりや意味するもの。